



ふれあい 放水路

1999
(平成11年)
第58号
1月

迎春



藁細工（出雲市下横町 園山 馨さん製作）

平成十一年の年頭にあたり、謹んで新年のお慶びを申し上げます。

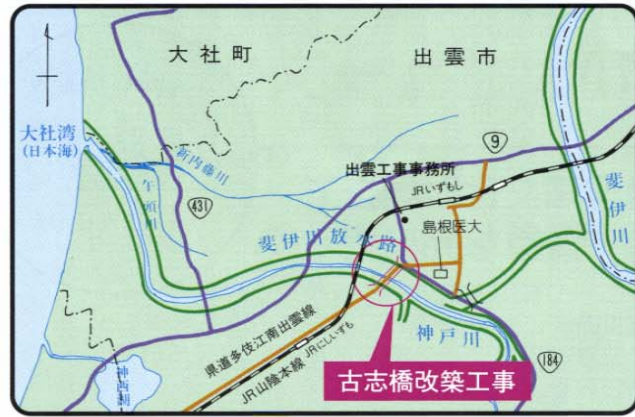
昨年は、古志橋、崎屋橋などの構造物工事や、掘削・築堤工事、堤脚水路、軟弱地盤対策、残土処理場の準備工事などを推進するとともに、妙見橋、半分大橋に着手しました。また、新宮橋や最初の大規模構造物となる新内藤川水門が完成するなど事業も順調に進捗しております。地域の皆様をはじめ関係者の方々のご理解とご協力に対し、厚く御礼申し上げます。

本年は、引き続き橋梁の改築工事、掘削・築堤工事、残土処理場の準備工事、用地買収や埋蔵文化財調査などを促進するとともに、新たに境橋、馬木大橋や排水機場の改築工事、樋門工事、高水護岸工事にも着手する予定です。

全国的な重点事業として進めている斐伊川放水路事業は、昨年末に大型補正予算が配分されるなど工事もますます本格化してまいります。引き続き、本事業に対するご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

建設省出雲工事事務所長

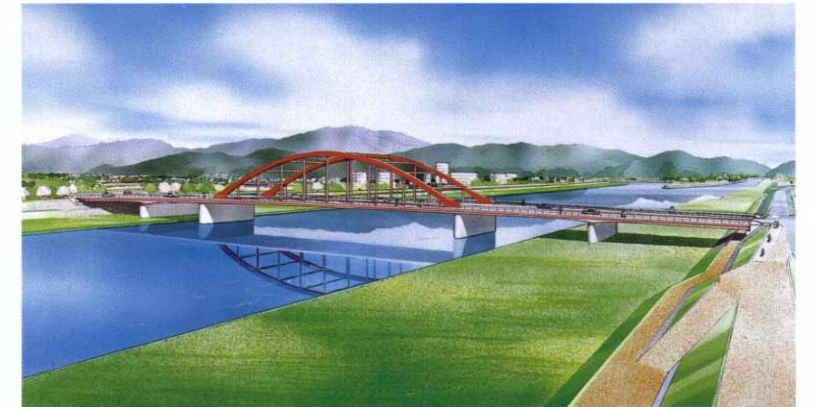
鈴木 篤



新しい古志橋の橋桁を架ける工事が始まりました。 ～古志橋上部工事の概要～

平成7年度から行っている県道多伎江南出雲線に架かる古志橋の改築工事では、中央部と右岸側（塩冶側）の橋脚・橋台が完成しています。
 現在、現地では中央のアーチ状の桁を架ける工事と左岸側（古志側）の橋脚・橋台の工事を行っており、また、右岸側の橋桁を工場で製作しています。
 中央部の桁は、平成10年2月から大阪市にある工場で製作していましたが、工場での作業が終わったため、いよいよ現地で桁を架ける工事に入りました。
 今回は、この桁が架かるまでの流れを紹介します。
 （新しい古志橋は4車線で計画されていますが、当面2車線で平成12年度末の完成を予定しています。）

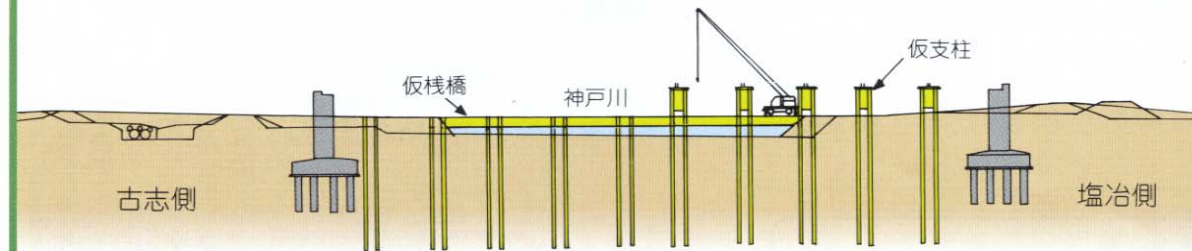
新しい古志橋のイメージ図



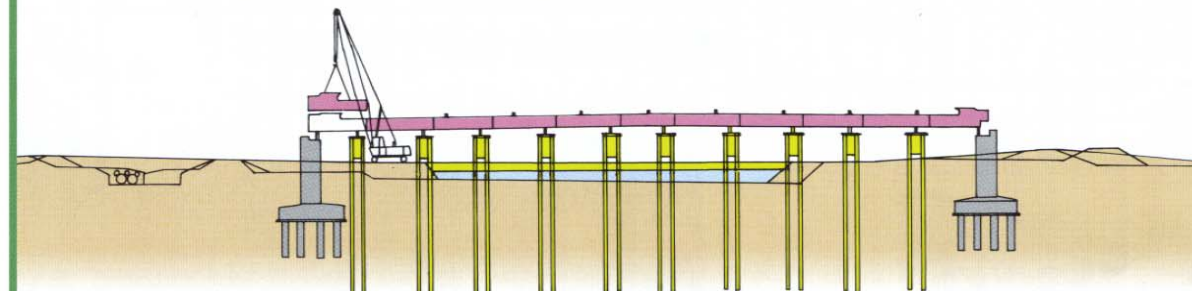
工事の流れ

■ 橋の部分 ■ 仮の施設

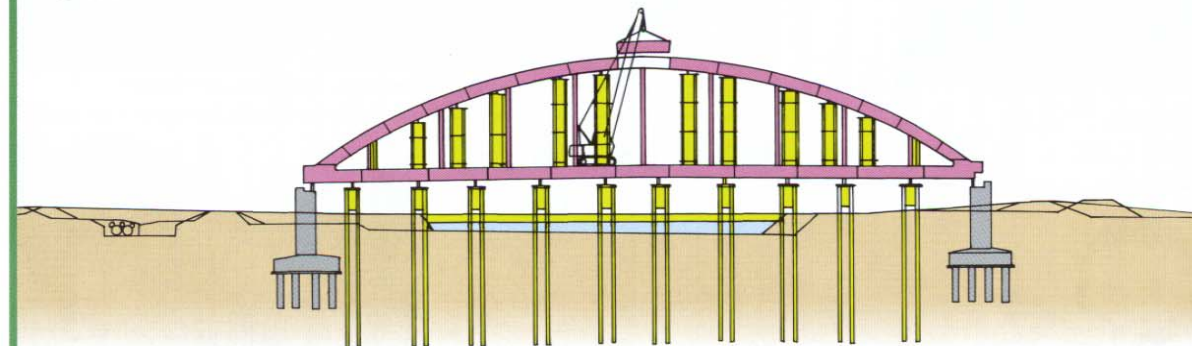
①川の水面部分へ仮栈橋をつくり、続いて桁を支える仮支柱を設置していきます。



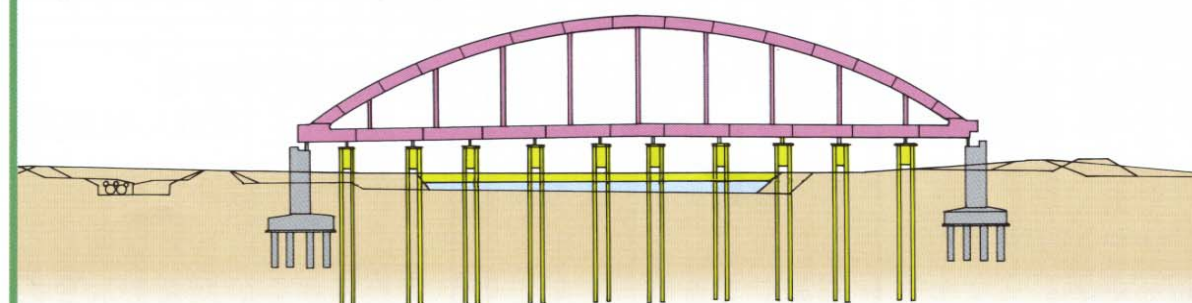
②仮栈橋上にクレーンを乗せて、桁の下の部分を架けていきます。



③設置した桁の下の部分にクレーンを乗せて、桁の上の部分を架けていきます。



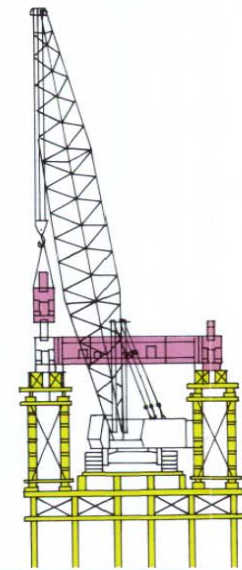
④桁が完成したらジャッキで移動させます。（右頁“工事のつば”参照）



断面図

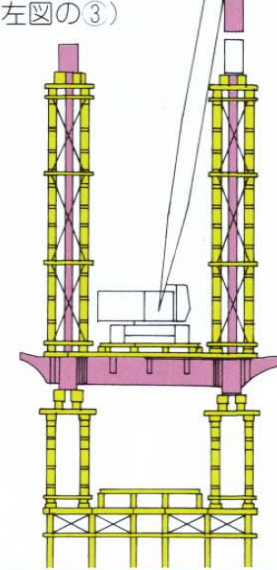
桁の下の部分

クレーンを仮栈橋の上へ乗せて作業をします。（左図の②）



桁の上の部分

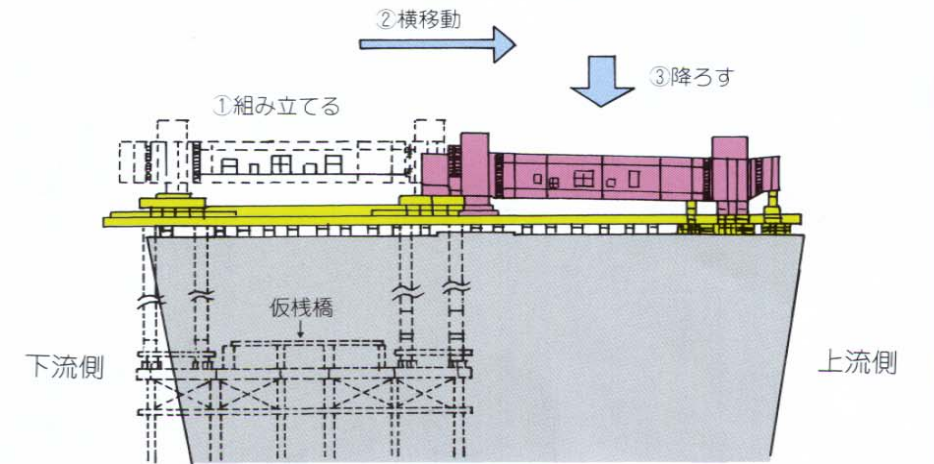
設置した桁の上へクレーンを乗せて作業をします。（左図の③）



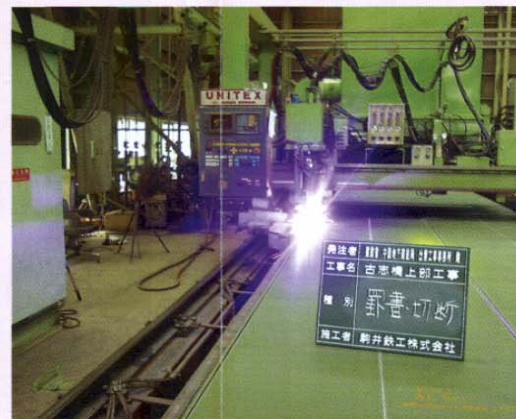
工事のつば

組み立てた橋桁をジャッキで移動

将来の計画に合わせて4車線用につくった橋脚のうち、まず今回橋を架ける反対側の下流側の車線上で橋桁を組み立てます。完成したら約1200トンもの橋桁全体を大型ジャッキで所定の位置（上流側）へ移動します。これは仮栈橋を撤去しやすくするための工夫です。



橋桁は大阪市にある工場で製作しました



鉄板の切断



桁の製作



工場での仮組立

平成10年 斐伊川放水路10大ニュース

ふれあい 放水路

通信

■新内藤川水門完成



■埋蔵文化財調査で 貴重な発見相次ぐ

C谷工事用道路で古墳時代末期から奈良時代にかけての“石櫃”や古志本郷遺跡で奈良時代の“郡の役所（郡庁）跡”が相次いで発見されました。

■半分防災調整池が完成

開削部の掘削工事に伴い増える雨水の流出を調節したり、濁水を沈殿させる防災調整池が完成しました。今後、掘削の進展にあわせ大きくしていきます。

■順調に進む橋梁工事

放水路事業では2番目となる新宮橋が完成。新たに半分大橋と妙見橋に着手しました。



■工事用道路ほぼ完成

放水路拡幅部（神戸川）で進めていた工事用道路が、一部区間を除き完成しました。築堤工事などの土砂運搬に利用します。

■本格的な堤防工事に着手

下流部左岸側に約1.6kmの堤防が姿を現しました。



■順調に進む開削部掘削工事



B谷とC谷が部分的につながり、また、B谷への掘削土運搬も始まりました。

■朝山道路工事に着手

平成11年度には半分大橋とともに付け替え予定区間全線が完成し、安全で快適に通行できるようになります。



建設省中国地方建設局
出雲工事事務所

〒693-0023 出雲市塩冶有原町5丁目1番地
☎(0853)21-1850

本誌に関するご意見やご要望などが
ございましたらお寄せください。

問い合わせ先：ふれあい放水路担当

放水路工事室 建設専門官

■「ふれあい放水路」 50号達成

放水路事業の情報紙として平成6年4月に創刊し、地域の皆様に親しまれている「ふれあい放水路」が第50号に達しました。

■放水路見学者 1000人を突破

工事が本格化してきた放水路現場を、1000人を越える方に見学していただきました。この数は昨年の約2倍にあたり、今後ますます増えていくことが予測されます。